

:

# Slider for ASP.NET Web Forms

2018.04.11 更新

グレースィティ株式会社

## 目次

<a href="#">製品の概要</a>	2
<a href="#">ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ</a>	2
<a href="#">主な特長</a>	3
<a href="#">クイックスタート</a>	4
<a href="#">手順 1: ページへの C1Slider の追加</a>	4
<a href="#">手順 2: コントロールのカスタマイズ</a>	4-5
<a href="#">手順 3: アプリケーションの実行</a>	5
<a href="#">デザイン時のサポート</a>	6
<a href="#">C1Slider スマートタグ</a>	6
<a href="#">C1Slider コンテキストメニュー</a>	6-7
<a href="#">C1Slider の要素</a>	8
<a href="#">つまみボタン</a>	8-9
<a href="#">スライダトラックと範囲</a>	9
<a href="#">〈インクリメント〉ボタンと〈デクリメント〉ボタン</a>	9-10
<a href="#">C1Slider の外観</a>	11
<a href="#">向き</a>	11
<a href="#">テーマ</a>	11
<a href="#">タスク別ヘルプ</a>	12
<a href="#">C1Slider の向きの変更</a>	12
<a href="#">C1Slider の範囲の設定</a>	12-13
<a href="#">C1Slider のつまみの設定</a>	13
<a href="#">C1Slider のドラッグフィルの動作</a>	13-14
<a href="#">C1Slider のアニメーションプロパティの設定</a>	14-15
<a href="#">C1Slider の外観のカスタマイズ</a>	15
<a href="#">組み込みテーマの使用</a>	15-16
<a href="#">CSS セレクタの使用</a>	16-17

## 製品の概要

**Slider for ASP.NET Web Forms** は、定義済みの範囲内で値を選択するためのシンプルでなじみある方法をエンドユーザーに提供します。**C1Slider** コントロールには、キーボードやマウスホイールのサポートなど、充実した組み込みのアクセス機能が含まれています。

## ComponentOne for ASP.NET Web Forms のヘルプ

ComponentOne for ASP.NET Web Forms の各コントロールで共通したトピック、アセンブリの追加、テーマの適用、クライアント側情報などについては「[ASP.NET Web Forms ユーザーガイド](#)」を参照してください。

## 主な特長

Slider for ASP.NET Web Forms は、以下の独特な主要機能を備えています。

- **垂直および水平方向の向き**  
スライダはページ上で水平(デフォルト)または垂直方向に表示できます。これにより、ページ上の他の要素と関連してコントロールのレイアウトをさらにカスタマイズできます。
- **範囲スライダ**  
値よりも範囲が必要なシナリオでは範囲スライダを使用します。ハンドルごとに初期値を設定できます。
- **堅牢なクライアント側オブジェクトモデル**  
スライダには、堅牢なクライアント側オブジェクトモデルが含まれています。この環境では、サーバー側プロパティの大部分がクライアント側で設定でき、クライアント側イベントはプロパティウィンドウで記述されます。この機能により、サーバーにポストバックしなくても、**C1Slider** のプロパティやメソッドにアクセスできます。
- **アニメーション**  
組み込みのアニメーション遷移オプションにより、スライダコントロールでアニメーション効果の遷移方法をカスタマイズできます。スライダトラックがクリックされたときのつまみの動き方を変更できます。デフォルトでは、スライダはスムーズで直線的な遷移効果を伴って移動します。
- **テーマ**  
スマートタグを単にクリックして、6種類のプレミアムテーマ(Arctic、Midnight、Aristo、Rocket、Cobalt、および Sterling)のいずれかを選択して外観を変更します。オプションとして、jQuery UI からThemeRoller を使用してカスタマイズしたテーマを作成します。
- **CSS のサポート**  
CSS(Cascading Style Sheet)のスタイルを使用して、カスタムスキンを定義します。

## クイックスタート

以下のクイック スタートは、ユーザーが手軽に**C1Slider** コントロールの機能になじめるよう配慮されています。このクイックスタートでは、**C1Slider** コントロールを使用してテキスト ボックスに表示されている番号を変更する、単純な Web サイトを作成します。

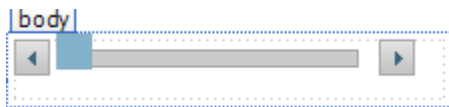
## 手順 1: ページへの C1Slider の追加

この手順では、**C1Slider** と **TextBox** コントロールをページに追加します。

以下の手順を実行します。

1. Visual Studio の[ファイル]メニューから、[新規]→[プロジェクト]を選択します。[新規プロジェクト]ダイアログボックスが表示されます。
2. [新規プロジェクト]ダイアログボックスで、左ペインにある言語を展開し、[Web]を選択します。右ペインで、[空の ASP.NET Web アプリケーション]を選択し、アプリケーションの[名前]を入力して<OK>を選択します。新しいアプリケーションが作成されます。
3. ソリューションエクスプローラで、プロジェクトを右クリックして[参照の追加]を選択します。
4. [参照の追加]ダイアログボックスで、**C1.Web.Wijmo.Controls** および **C1.Web.Wijmo.Controls.Design** アセンブリを検出して選択し、<OK>をクリックします。参照が追加されます。
5. ソリューションエクスプローラで、プロジェクトを右クリックしてコンテキストメニューを開き、[追加]→[新しい項目]を選択します。
6. [新しい項目の追加]ダイアログボックスで、テンプレートのリストから[Web フォーム]を選択し、項目に Default.aspx という名前を付けて、<追加>をクリックします。新しいページが開きます。
7. ドキュメントウィンドウのすぐ下の「デザイン」タブをクリックして、デザインビューに切り替えます。
8. Visual Studio Toolbox に移動し、**C1Slider** をダブルクリックしてページに追加します。

ページは次の図のようになります。



9. デザインビューで、[Enter]キーを押して **C1Slider** の下にスペースを追加します。
10. Toolbox に移動し、**Input (Text)** コントロールをダブルクリックしてアプリケーションに追加します。
11. スライダーと同じ幅になるように、入力コントロールのサイズを変更します。

これで、Web サイトの作成とページへのコントロールの追加が完了しました。次の手順は、**C1Slider** をカスタマイズします。

## 手順 2: コントロールのカスタマイズ

この手順では、**C1Slider** をカスタマイズします。以下の手順では、「[手順 1: ページへの C1Slider の追加](#)」トピックを完了し、**C1Slider** がページに追加されていることを前提にしています。

以下の手順を実行します。

1. デザインビューで、**C1Slider** のスマートタグをクリックして、[**C1Slider タスク**]メニューを開きます。
2. [テーマ]ドロップダウンボックスで、**rocket** をを選択してテーマを変更します。
3. **C1Slider** が選択された状態で、プロパティウィンドウに移動し、**Value** プロパティの横に **50** と入力し、つまみボタンの初期位置を設定します。
4. ソースビューに切り替え、**C1Slider** のマークアップを編集して、**OnClickButtonClick** イベントハンドラを追加します。このマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<cc1:C1Slider ID="C1Slider1" runat="server" onclickbuttonclick="C1Slider1_OnClientButtonClick"
```

```
Value="50" />
```

5. ソースビューに切り替え、入力コントロールのマークアップを編集して、**OnChange** イベントハンドラを追加します。このマークアップは次のようになります。

ソースビュー

```
<input id="Text1" type="text" onchange="Text1_OnChange()"/>
```

6. 次のようなスクリプトになるように、ソースビューで、JavaScript を **C1Slider1\_OnClientValueChanged** イベントハンドラに追加します。

ソースビュー

```
<script type="text/javascript" language="javascript">
function C1Slider1_OnClientButtonClicked(sender, eventargs) {
    document.getElementById("Text1").value = $("#<%=C1Slider1.ClientID%>").c1slider("value");
};
function Text1_OnChange() {
    var val = parseInt(document.getElementById("Text1").value);
    $("#<%=C1Slider1.ClientID%>").c1slider("value", val);
};
</script>
```

**C1Slider** の値が変わるとテキストボックスの値が変わり、テキストボックスの値が変わるとスライダの値が変わるようになります。

この手順では、コントロールを JavaScript でカスタマイズしました。次(最後)の手順では、作成したアプリケーションを実行し、**C1Slider** の動作を確認します。

## 手順 3: アプリケーションの実行

前の手順では、**C1Slider** を作成し、カスタマイズしました。この最後の手順では、作成したアプリケーションを実行し、実行時の **C1Slider** を確認します。以下は、「[手順 2: コントロールのカスタマイズ](#)」トピックを完了していることを前提にしています。

以下の手順を実行します。

1. アプリケーションを実行します。ページは次のように表示されます。



〈**インクリメント**〉ボタンまたは〈**デクリメント**〉ボタンをクリックします。スライダの**値**がテキストボックスに表示されていることに注意してください。テキストボックス内の値が 1 だけ増加します。〈**インクリメント**〉ボタンと〈**デクリメント**〉ボタンを押したときの **C1Slider** コントロールの値の変化量は、**Step** プロパティによって制御します。

2. テキストボックスに値(たとえば **20**)を入力し、ページのテキストボックスの外側の部分をクリックします。つまみコントロールの位置が入力した数値に変わります。

この手順では、**C1Slider** の実行時の動作を確認しました。このクイック スタートを完了すれば、単純な **C1Slider** アプリケーションによる Web サイトの作成は完了です。

## デザイン時のサポート

以下のセクションでは、**C1Slider** のデザイン時環境を使用して **C1Slider** コントロールを構成する方法について説明します。

### C1Slider スマートタグ

Visual Studio では、**C1Slider** コントロールにスマートタグが用意されています。スマートタグは、**C1Slider** で最もよく一般に使用されるプロパティを提供するショートカットタスクメニューを表します。**C1Slider** コントロールでは、スマートタグによって、よく使用されるプロパティにすばやく簡単にアクセスできます。

[**C1Slider タスク**]メニューにアクセスするには、**C1Slider** コントロールの右上端にあるスマートタグをクリックします。これによって、[**C1Slider タスク**]メニューが開きます。



[**C1Slider タスク**]メニューは次のように動作します。

- **テーマ**  
[**テーマ**]ドロップダウンボックスをクリックすれば、各種の視覚スキームから選択できます。使用可能な視覚スタイルの詳細については、「[テーマ](#)」を参照してください。
- **新しいテーマの作成**  
[**新しいテーマの作成**]オプションをクリックすると、**ThemeRoller for Visual Studio** が開きます。したがって、開発環境内でテーマをカスタマイズすることができます。アプリケーションで **ThemeRoller for Visual Studio** を使用する方法については、「[ThemeRoller for Visual Studio](#)」を参照してください。
- **CDN の使用**  
[**CDN の使用**]チェックボックスを ON にすると、CDN からクライアントリソースがロードされます。これはデフォルトで OFF です。
- **CDN パス**  
CDN の URL パスを表示します。
- **Bootstrap の使用**  
[**Bootstrap の使用**]オプションを選択すると、コントロールに Bootstrap テーマを適用することができます。アプリケーションで Bootstrap テーマを使用する方法については、「[Bootstrap for ASP.NET Web Forms クイックスタート](#)」を参照してください。
- **バージョン情報**  
[**バージョン情報**]項目をクリックすると、製品のバージョン情報を確認できるダイアログボックスが表示されます。

### C1Slider コンテキストメニュー

リスト上の任意の場所を右クリックして、**C1Slider** のコンテキストメニューを表示します。これは、Visual Studio がすべての .NET コントロールに提供しているコンテキストメニューです。

# Slider for ASP.NET Web Forms



コンテキストメニューのコマンドは、以下のように動作します。

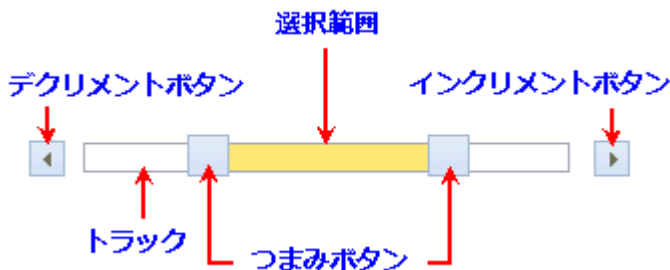
- **スマートタグの表示**

この項目をクリックすると、[C1Slider タスク]メニューが表示されます。スマートタグの使用方法や[タスク]メニューで提供される機能の詳細については、「[C1Slider スマートタグ](#)」を参照してください。



## C1Slider の要素

このセクションでは、**C1Slider** コントロールを構成する各要素の視覚的および記述的な概要を提供します。**C1Slider** コントロールは、いくつかの異なる要素で構成されています。**C1Slider** コントロールには、選択領域を表示するトラック、トラック上で移動可能なつまみボタン、およびトラック上のつまみを動かせる〈インクリメント〉ボタンと〈デクリメント〉ボタンが含まれます。



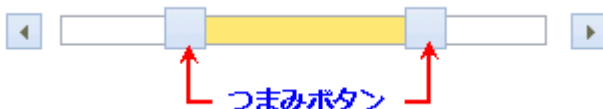
コントロールは、以下の各要素から構成されます。

- **選択範囲**: 選択領域は、1番目のつまみボタンから2番目のつまみボタンまでの選択された範囲を目立つ色で視覚化したものです。
- **つまみボタン**:: ハンドルをマウスでドラッグすると、スライダの **Value** が変化します。ボタンが2つある場合は、代わりにスライダの **Values** プロパティが変化します。
- **トラック**: スライダを視覚化したもので、クリックされると **Value** と **Values** が変化します。
- **〈デクリメント〉ボタン**: スライダの **Value** を **Step** の値だけ減少させます。
- **〈インクリメント〉ボタン**: スライダの **Value** を **Step** の値だけ増加させます。

以下のトピックは、コントロールの異なる側面を表す各種のコントロール要素に分かれています。

## つまみボタン

**C1Slider** コントロールには、2つのつまみボタンが含まれています。1番目の主つまみボタンと2番目のつまみボタンは値範囲の選択に使用されます。デフォルトでは、1番目のつまみボタンが表示され、2番目のつまみボタンは表示されません。つまみボタンの値は **Value** プロパティによって定義されます。つまみボタンが2つある場合、両方の値が **Values** プロパティによって定義されます。



**C1Slider** コントロールの主つまみボタンは、ドラッグ & ドロップ操作、または〈インクリメント〉ボタンと〈デクリメント〉ボタンを押すことにより、スライダトラック上で移動できます。2番目のつまみボタンもドラッグ & ドロップ操作で移動できますが、このボタンは **Value** プロパティにのみ対応するので、〈インクリメント〉ボタンと〈デクリメント〉ボタンをクリックしても移動できません。

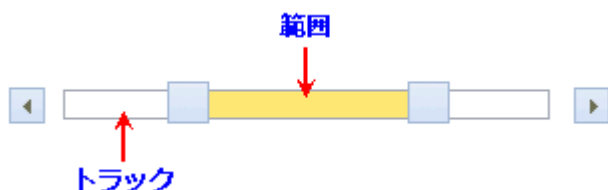
デフォルトでは、**Value** が設定されていない場合、スライダの主つまみボタンは実行時にスライダトラック上、〈デクリメント〉ボタンの隣に表示されます。これは、**Orientation** が **Horizontal** に設定されている場合はコントロールの左側、**Orientation** が **Vertical** に設定されている場合はコントロールの上部です。



スライダの2番目のつまみボタンは、デフォルトではスライダトラックの反対の端部に表示されます。これは、**Orientation** が **Horizontal** に設定されている場合はコントロールの右側、**Orientation** が **Vertical** に設定されている場合はコントロールの下部です。

## スライダトラックと範囲

**C1Slider** コントロールのトラック領域は、スライダの基礎部分です。スライダトラックは、つまみボタンが動いて **Value** プロパティが設定される領域です。〈デクリメント〉ボタンと〈インクリメント〉ボタンは、スライダトラックの両端に表示されます。

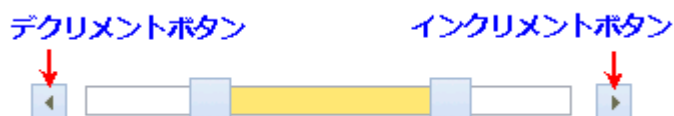


トラックの選択された範囲は、2つの選択された **Values** の差異を視覚的に示します。範囲は制限範囲内の値をフィルタリングするために使用できます。たとえば、オンラインストアで特定の価格範囲内のアイテムを検索したり、特定の日付範囲内に発生したイベントのリストを検索したりできます。

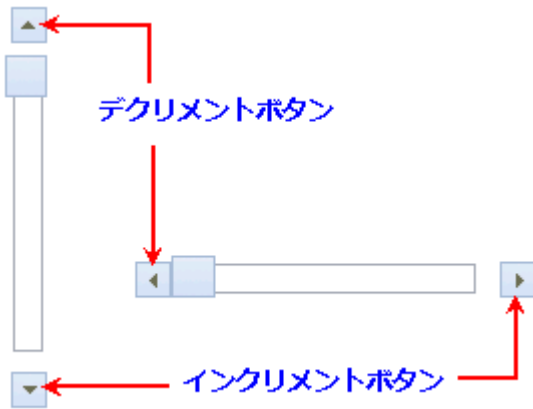
スライダトラックでは、陰影を付けることで現在の **Value** が視覚的に示されます。つまみボタンが動かされたり、**Value** が変更されると、スライダトラックでは、選択された範囲に色付けすることで現在値が示されます。

## 〈インクリメント〉ボタンと〈デクリメント〉ボタン

**C1Slider** コントロールの〈インクリメント〉ボタンと〈デクリメント〉ボタンは、スライダトラックの両端に表示されます。〈インクリメント〉ボタンと〈デクリメント〉ボタンをクリックすると、**Value** プロパティとスライダトラック上でのつまみボタンの位置が変わります。



デフォルトでは、〈デクリメント〉ボタンは、**Orientation** が **Horizontal** に設定されている場合はスライダの左側に表示され、**Orientation** が **Vertical** に設定されている場合はコントロールの上部に表示されます。デフォルトでは、〈インクリメント〉ボタンは、**Orientation** が **Horizontal** に設定されている場合はスライダの右側に表示され、**Orientation** が **Vertical** に設定されている場合はコントロールの下部に表示されます。



デフォルトでは、**インクリメント**ボタンと**デクリメント**ボタンは、スライダの **Value**を1単位だけ増加または減少させます。スライダの**Value**の増減単位を変更するには、**Step**プロパティを使用できます。**Step**プロパティは、つまみが動かされたり、**インクリメント**ボタンや**デクリメント**ボタンがクリックされたりしたときの**Value**の増減単位の数値に設定します。

## C1Slider の外観

**C1Slider** コントロールの外観やレイアウトをカスタマイズするには、いくつかのオプションがあります。以下のセクションでは、組み込みのテーマでコントロールの外観を変更する方法や、**C1Slider** コントロールの他の要素をカスタマイズする方法を説明します。

## 向き

**C1Slider** では **C1Slider** プロパティを使用して、コントロールの向きを水平または垂直にできます。デフォルトでは、コントロールは、ページ上に配置されると初期状態では水平の向きで表示されます。向きは、プロパティウィンドウ、ソースビュー、およびコードで **C1Slider** プロパティを使用して簡単に変更できます。




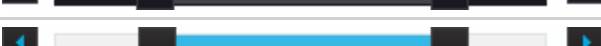
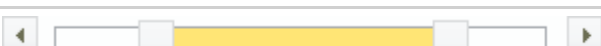

**C1Slider** は、次の向きに設定できます。

向き	プレビュー
水平(デフォルト)	
垂直	

## テーマ

**C1Slider** には、6種類の組み込みテーマが含まれており、アプリケーションをすばやくスタイル設定できます。[**C1Slider タスク**]メニューまたはプロパティウィンドウを使用して、簡単にテーマを変更できます。

**C1Slider** には、次のテーマが組み込まれています。

視覚スタイル	プレビュー
arctic	
aristo (default)	
cobalt	
midnight	
rocket	
sterling	

## タスク別ヘルプ

タスク別ヘルプのセクションは、Visual Studio ASP.NET 環境でのプログラミングに精通し、**C1Slider** コントロールの一般的な使用方法を理解しているユーザーを対象としています。タスク別ヘルプの各トピックでは、新しい ASP.NET プロジェクトを既に作成していることを前提としています。

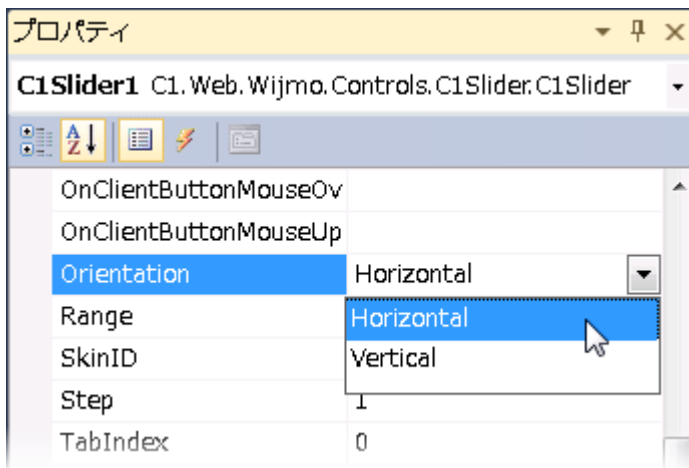
## C1Slider の向きの変更

C1Slider は水平または垂直に表示できます。**C1Slider** コントロールのデフォルトの向きは水平です。このトピックでは、デザインビューとソースビューで C1Slider の向きを設定する手順について説明します。

### デザインビューの場合

以下の手順を実行します。

1. C1Slider プロパティウィンドウに移動し、リストで**Orientation** プロパティを探します。
2. ドロップダウンメニューを使用して、プロパティを「Vertical」に設定します。



### ソースビューの場合

`Orientation="Vertical"` を `<cc1:C1Slider>` タグに追加して次のように記述します。

ソースビュー

```
<cc1:C1Slider ID="C1Slider1" runat="server" Orientation="Vertical" />
```

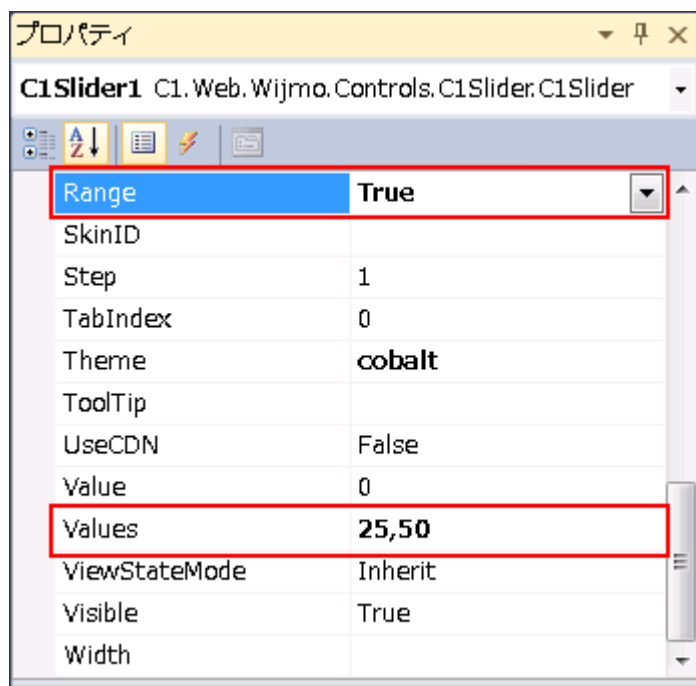
## C1Slider の範囲の設定

**C1Slider** は2つのドラッグハンドルによる値範囲の取得をサポートします。このトピックでは、デザインビューとソースビューで2つのドラッグハンドルの操作を可能にする手順について説明します。

### デザインビューの場合

1. デザインビューで、**C1Slider** プロパティウィンドウに移動します。
2. **Range** プロパティを探し、ドロップダウンメニューを使用して「true」に設定します。
3. **Values** プロパティを探して<...>ボタンをクリックし、**Int32 コレクションエディタ**を使用して値「25」と「50」を追加します。

# Slider for ASP.NET Web Forms



4. プロジェクトを実行します。C1Slider は、次の図のようになるはずですが。



## ソースビュー

次に示すように、`Range="True"` と `Values="25,50"` を `<cc1:C1Slider>` タグに追加します。

### ソースビュー

```
<cc1:C1Slider ID="C1Slider1" runat="server" Range="True" Values="25,50" />
```

## C1Slider のつまみの設定

**C1Slider** は、ユーザーが入力できる上限と下限の範囲の設定をサポートします。このトピックでは、デザインビューとソースビューで範囲設定を作成する手順について説明します。

### デザインビューの場合

1. デザインビューで、C1Slider プロパティウィンドウに移動し、**Values** プロパティを探します。
2. <...> ボタンをクリックし、**Int32 コレクションエディタ**を使用して値 "25" と "50" を追加します。
3. プロジェクトを実行します。C1Slider は、次の図のようになるはずですが。



### ソースビューの場合

以下のサンプルに示すように、`Values="25,50"` を `<cc1:C1Slider>` タグに追加します。

### ソースビュー

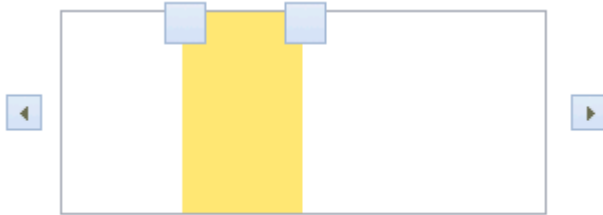
```
<cc1:C1Slider ID="C1Slider1" runat="server" Values="25,50"> <cc1:C1Slider />
```

## C1Slider のドラッグフィルの動作

**C1Slider** は、2つのドラッグハンドル間のドラッグフィルをサポートします。デフォルトでは、**DragFill** プロパティは true に設定されます。このトピックでは、デザインビューとソースビューでドラッグフィルの動作を可能にするプロパティの設定手順について説明します。

### デザインビューの場合

1. デザインビューで、C1Slider プロパティウィンドウに移動し、**Height** と **Width** プロパティを探します。**Height** を "100px"、**Width** を "300px" に設定します。
2. **Range** と **Values** プロパティを探します。**Range** を "True"、**Values** を "25,50" に設定します。
3. プロパティを探します。**Range** を "True"、**Values** を "25,50" に設定します。



### ソースビューの場合

以下のプロパティを<cc1:C1Slider> タグに追加します。

- Height="100px"
- Width="300px"
- Range="True"
- Values="25,50"

<cc1:C1Slider> タグは、次のサンプルのようになるはずです。

ソースビュー

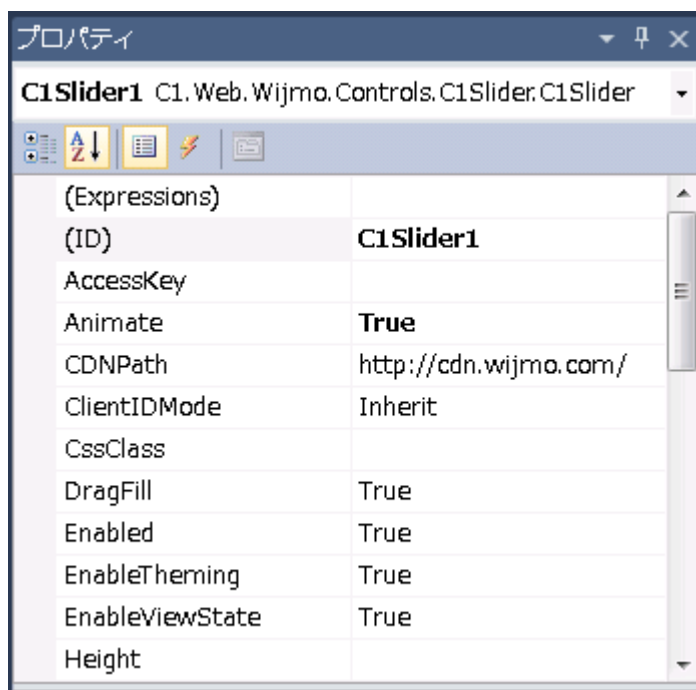
```
<cc1:C1Slider ID="C1Slider1" runat="server" Height="100px" Width="300px" Range="True" Values="25,50" />
```

## C1Slider のアニメーションプロパティの設定

**C1Slider** はアニメーションをサポートします。デフォルトでは、**Animate** プロパティは「false」に設定されます。このサーバー側タスク別ヘルプでは、デザインビューとソースビューで **Animate** プロパティを設定する手順について説明します。

### デザインビューの場合

1. C1Slider プロパティウィンドウに移動し、リストで **Animate** プロパティを探します。
2. ドロップダウンメニューを使用して、プロパティを "True" に設定します。



## ソースビューの場合

以下のサンプルに示すように、`Animate="True"` を `<cc1:C1Slider>` タグに追加します。

ソースビュー

```
<cc1:C1Slider ID="C1Slider1" runat="server" Animate="True" />
```


## C1Slider の外観のカスタマイズ

**C1Slider**の外観を完全にカスタマイズできます。**C1Slider** には、設定が簡単な6種類の組み込みテーマが付属しており、これらを使用するか、または **C1Slider** の CSS セレクタを使用してコントロールの外観をカスタマイズできます。jQuery を介して利用できるカスタムテーマのいずれかを使用することもできます。

## 組み込みテーマの使用

スマートタグを使用して組み込みテーマのいずれかを適用して、簡単にスライダコントロールをカスタマイズできます。

以下の手順を実行します。

1. プロジェクトの **C1Slider** コントロールを選択します。
2. スマートタグボタン  をクリックして、[**C1Slider タスク**]メニューを開きます。
3. **テーマ** ドロップダウンボックスを使用して新しいテーマを選択します。





- [F5]または<デバッグ開始>を押して、プログラムを実行します。選択したテーマが次の図のようにスライダコントロールに適用されます。



## CSS セレクタの使用

**C1Slider**の CSS セレクタを設定してスライダの外観を制御できます。

以下の手順を実行します。

- Visual Studio のツールバーから、**[表示]→[プロパティ]**を選択します。
- プロパティウィンドウで、**CssClass** プロパティを探し、ドロップダウンリストを使用して **wijmo-wijslider** に設定します。
- ソースビューに切り替えて、`<asp:Content>` タグの最初のセットを探します。次のタグのセットを挿入します。

ソースビュー

```
<style type="text/css"></style>
```

- 以下の CSS スクリプトを`<style>` タグに挿入します。これにより、スライダコントロールの外観のプロパティが設定されます。

ソースビュー

```
.wijmo-wijslider-incbutton
{
    background: #308014;
}

.wijmo-wijslider-decbutton
{
    background: #308014;
}

.wijmo-wijslider
{
    border-color: #000000; border-width: medium; background-color: #3d9140;
}

.wijmo-wijslider-incbutton .ui-icon-triangle-1-e
{
    background-color: #ffffff;
}

.wijmo-wijslider .ui-slider-handle
{
    background: #308014;
}

.wijmo-wijslider .ui-state-active
{
    background: #ffffff;
}
```

- [F5]を押して、アプリケーションを実行します。スライダコントロールは次の図のように表示されます。

## Slider for ASP.NET Web Forms



ハンドルをクリックすると、ハンドルが白に変わることにご注意ください。

